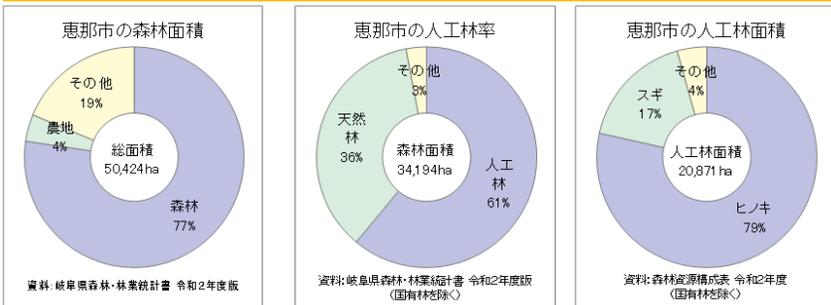
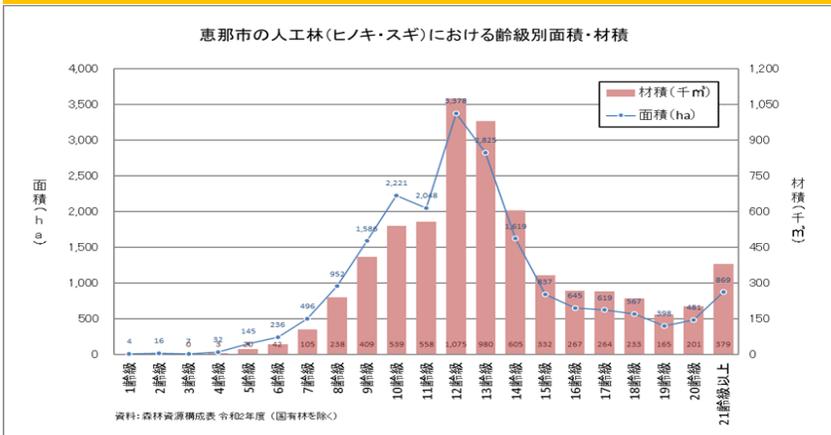


森林の現状



市内の77%が森林
 そのほとんどがヒノキの人工林

人工林の現状



主伐適齢期を迎えている人工林が多い



えなの森林づくり推進委員会による提言や意見を踏まえ、「えなの森林活かして守って次世代へ～市民の力で持続可能な地域循環型の森林づくり～」という理念を掲げ、「未来への枠組み」、「えなの森林を活用する」、「えなの森林を守る」、「えなの森林を支える力」の大きく4つの視点から森林づくりを進めます。

理念

えなの森林 ^{まもり}活かして守って次世代へ
 ～市民の力で持続可能な地域循環型の森林づくり～

変更実施計画の具体的な取り組み

未来への枠組み 森林づくりを実現するために必要な取り組み

- ①観光景観林と生活保全林のゾーニング
- ②SDGsに対応した林業への転換
- ③コロナ社会に応じた林業
- ④えなの森林づくり実施計画の見直し

えなの森林を活用する 森林資源の活用を進めるための取り組み

- ①木質バイオマス利用の拡大策の推進(農林業連携)
- ②木の駅プロジェクトの推進
- ③薪販売の推進
- ④木製品の魅力発信
- ⑤公共施設の木造化
- ⑥えなの木省エネ住宅支援
- ⑦市有林の協働活用

えなの森林を守る 森林の持つ多面的機能を守るための取り組み

- ①治山事業の計画的な実施
- ②カーボンニュートラルに向けた林業
- ③地籍調査・境界明確化の推進
- ④計画的な間伐の実施
- ⑤林道等の整備
- ⑥スマート農林業の推進(農林業連携)
- ⑦市行造林の有効活用
- ⑧獣害対策の徹底(農林業連携)

えなの森林を支える力 森林を支える人・地域を育てる取り組み

- ①小中学校での森林教育
- ②技術者育成の支援
- ③農林業体験ツアー(農林業連携)
- ④森林教育の活動拠点づくり
- ⑤木育の推進
- ⑥木エコテストの再編

えなの森林づくり基本計画改訂版・変更実施計画(概要版)

変更のポイント

理念(基本計画)

「えなの森林 活かして守って次世代へ
～市民の力で持続可能な地域循環型の森林づくり～」

4つの視点(基本計画)

①未来への枠組み 森林づくりを実現するために必要な取り組み

具体的に行う施策(実施計画) ○観光景観林と生活保全林のゾーニング○コロナ社会に応じた林業○SDGsに対応した林業への転換

②えなの森林を活用する 森林資源の活用を進めるための取り組み

具体的に行う施策(実施計画) ○木質バイオマス利用の拡大策の推進(農林業連携)○えなの木省エネ住宅支援

③えなの森林を守る 森林の持つ多面的機能を守るための取り組み

具体的に行う施策(実施計画) ○カーボンニュートラルに向けた林業○スマート農林業の推進(農林業連携)○獣害対策の徹底(農林業連携)

④えなの森林を支える力 森林を支える人・地域を育てる取り組み

具体的に行う施策(実施計画) ○農林業体験ツアー(農林業連携)

